

第4回 岡山写真研究会・写真展

掲載は、7枚対順

異義界庭園 大西マサエ



見えるもの、見えないもの。自分の中で繰り広げられる世界をレンズの目を通して表現してみました。

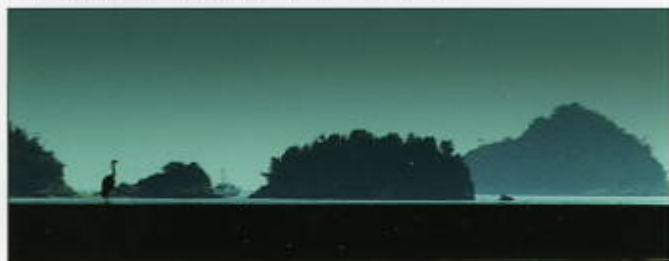
あるべき世界が『真実』であるかどうか、判断の基準はいつも自分自身の目と心にあると思い撮影に臨んでいます。ここに表された世界は私にとって確実に『真実』の世界であります。

残夏 桑田太



じりじりと照りつける熱い日差しの中、瀬戸内のある島へ渡った。小さな廃校の校庭で運動会があり、近隣から帰島し旧交を温め楽しみ合う場へ遭遇した。船便の少ないわずかな時間でありながら、この島を元島民のごとく徘徊して楽しませて頂きました。

幻想瀬戸内海 山上高人



見慣れた瀬戸内海を、あるがままではなく、心に写ったように自由に幻想的に表現してみました。

ミュンヘンの風 神達勝之



ミュンヘンはドイツ第2の都市で観光客を惹きつける魅力は何ととっても陽気なバイエルン気質と美しい街並み、そしてビールである。今回の撮影ではバイエルン気質の人々と街並みを中心に撮ってみました。

路上観察 鈴木サトシ

この一連の写真は、路上観察していると、思わず「ハッ」とさせられるモノがあります。そんな感動が楽しく自分の好きなように興味のおもむくままに、まるで自由人のように徘徊しています。



賀陽の朝 谷道彦

日中友好の礎を築いた岡崎嘉平太や名庭園師として名高い重森三玲が生まれ育った賀陽の朝は、とても清々しい。



霧の中に浮かび上がる田舎の風景は、私たちの心の古里でなかろうか

平成19年6月19日(火)～24日(日)

午前9時から～午後6時まで(最終日は5時)

天神山文化プラザ

電話 086-226-5005

後援 岡山県 山陽新聞社 山陽放送 OHK (株)ニコン
カメラのキタムラ タカハシカメラ